

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 (学) 化学探究		
時期・単元	内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
(4月)	化学基礎 1章 物質の構成 2章 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。</li> <li>物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。</li> <li>物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとする。</li> </ul>
(5月)	化学基礎 3章 物質の変化 化学 1章 物質の状態と平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。・燃焼, 金属の溶解の利用に興味をもち, それらの共通性を意欲的に探究する。</li> <li>身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。</li> <li>気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。</li> <li>溶液の性質の法則性, コロイド溶液に関する事象について理解し, 知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。</li> <li>様々な観察, 実験を通し, 酸化還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し, 共通性を見出し, 酸化還元反応として論理的に考察できる。</li> <li>気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し, その考えを説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な物質の化学変化に注目し, 化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに, 意欲的にそれらを探究しようとする。</li> <li>代表的な酸化剤, 還元剤の観察, 実験の報告書を作成する中で, 電子の授受としての規則性を見出し, 自らの考えで表現することができる。</li> <li>気体, 液体, 固体が示すさまざまな性質に着目し, 共通の事象について規則性を予測しようとする。</li> <li>気体が示す様々な性質に着目し, 探究しようとする。</li> </ul>
(9月)	化学 2章 物質の変化と平衡	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応における熱および光の発生や吸収は, 反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。</li> <li>ヘスの法則について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応に伴って熱, 光, 電気エネルギーの出入りがあること, 温度・濃度・触媒の影響などを受けることを, 代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また, 導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること, 温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。</li> </ul>

(10月)	化学 4章 有機化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>炭化水素の分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解している。</li> <li>有機化合物の成分元素の確認や組成式・分子式・構造式の決定について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>炭化水素、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、構造異性体、鏡像異性体などを論理的に考察し、説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳香族化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。</li> <li>芳香族化合物について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させて探究しようとする。</li> </ul>
(12月)	化学 5章 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然高分子化合物の構造や性質について理解し、知識を身につけている。</li> <li>天然高分子族化合物の性質や反応について、観察、実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、実験器具の選定や扱い方が身につけている。</li> <li>合成高分子化合物の構造、性質および合成について理解し、知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然高分子化合物の性質や反応性が、その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し、いくつかの天然高分子化合物について具体的に考察することができる。</li> <li>合成高分子化合物の性質や反応性が、その構造および結合の状態に特徴づけられる面があることを見出し、いくつかの合成高分子化合物について具体的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天然高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。</li> <li>合成高分子化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心をもち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。また、観察・実験を行い探究しようとする。</li> </ul>
主な評価方法		定期考査、提出物など	定期考査、提出物など	定期考査、出席状況など
その他				